

福岡市のマリーナMARINO Aにおける利用状況調査

九州共立大学 工学部 学生員 ○中野 博司

九州共立大学 工学部 正 員 片山 正敏

1. はじめに

都市臨海部水辺空間の利用状況に関する調査の一環として、昨年度（北九州市新門司マリーナ）に引き続き福岡市のMARINO Aにおいて、平成6年7月～8月の間、①属性・居住地、②来訪目的・来訪頻度・交通手段、③施設の利用状況、④施設利用前の意識、⑤施設利用後の意識について「アンケート調査」を実施したので、その利用状況の概要について報告する。

2. マリーナMARINO Aの概要

MARINO Aは、国際的なマリーナを中心に、ショッピングや飲食も楽しめる多機能なアーバンリゾートであり、すべての人に開かれた発信型の海洋施設として福岡市西区に建設され、平成4年2月設立された㈱西福岡マリーナによって運営されている。

マリーナの機能は、①ハーバーサービス（ヨット・ボートの艇置、整備、諸サービス、舟艇販売）、②マリノアクラブ（メンバーズクラブ）の運営、③マリナーサービス（ボートライセンススクール、船舶のチャーター）、④商業サービス（レストラン、ショップ、研修室、展示室）である。舟艇の保管能力は、870隻（水域保管210隻、陸域保管660隻）で、事業面積は 9.6 ha（水域5.9 ha、陸域3.7 ha）である。

3. アンケート調査の概要

表-1 アンケート調査の概要

調査対象	MARINO Aへの来訪者全員
調査期間	平成6年7月～8月の10日間
調査方法	来訪者に調査票を配布・回収
調査項目	大項目30、合計41項目 艇置者等には別途10項目追加
回収数	2557
有効回収率	2417（94.5%）

なお、有効回収率としては、ほぼ全項目にわたって回答しているものを有効回答とした。

4. 来訪者の属性

(1) 来訪者の年齢、性別

来訪者の約51%が20歳代で、続いて30歳代が約24%、40歳代が約12%を占めており、夏場のマリナー施設の特徴が現れている。（図-1参照）

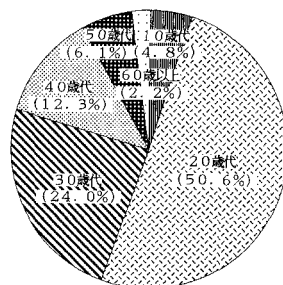


図-1 来訪者の年齢

また、来訪者の性別では、女性が約53%と男性を上回っている。

(2) 来訪者の職業

来訪者の職業は、約53%が会社員と回答しており、続いて主婦が約14%となっている。（図-2参照）これは、来訪の主たる目的がクルージング以外であることによると思われる。

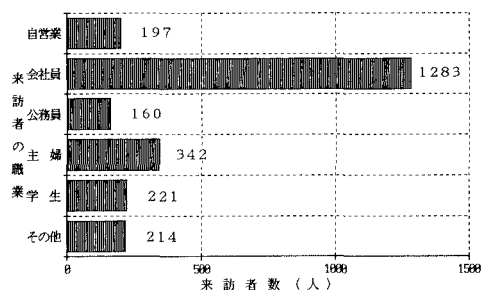


図-2 来訪者の職業

5. 来訪者の来訪目的、来訪回数、来訪頻度

(1) 来訪の目的

平成6年は平年以上の酷暑であったが、主たる来訪目的（複数回答）は、休憩が約33%、施設見学が約25%、レストラン利用が約23%と多く、クルージング目

的は約3.2%と非常に少ない。(図-3 参照)

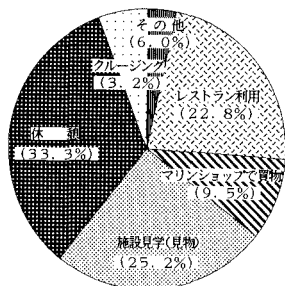


図-3 来訪者の来訪目的

(2) これまでの来訪回数

MARINO Aが平成5年4月に開業して以来、本調査時点まで約1年3ヶ月しか経過していなかったこともあり、初めての人が約42%、9回以下の人が約49%と多い。(図-4 参照)

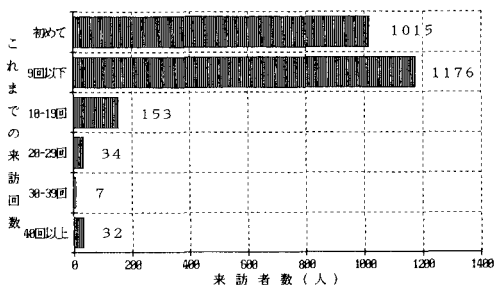


図-4 これまでの来訪回数

(3) 来訪の頻度

MARINO Aへの来訪頻度を図-5に示す。初めての人約42%に続いて、1~2回/年の人が約22%、3~4回/年の人が約19%と多く、MARINO Aまでの交通手段(複数回答)は、公共交通機関の利用が不便なため、約93%が自家用車によっている。

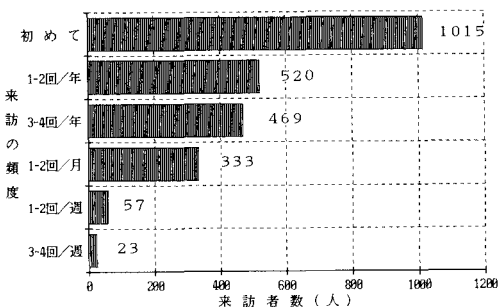


図-5 来訪者の来訪頻度

また、MARINO Aまでの所要時間は、30分以内が約39%、30分~1時間が約36%と圧倒的に多く、2.5

時間以上の遠距離からの来訪者は約4.4%と非常に少ない。

6. 施設の利用状況

(1) 利用時の同行者

マリナ利用時の同行者(複数回答)は、親しい友人・知人が約37%と多く、続いて家族が約28%、親しい異性が約27%となっている。(図-6 参照)

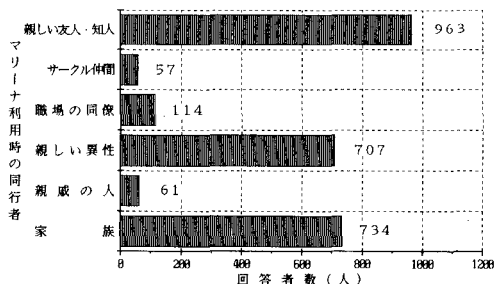


図-6 マリーナ利用時の同行者

(2) 利用時の人数、利用(滞在)時間

マリナ利用時の人数は、2~3人が約76%、4~5人が約18%と比較的少人数での利用が多い。(図-7 参照)

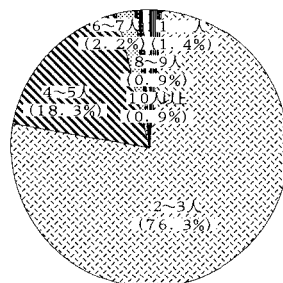


図-7 マリーナ利用時の人数

また、マリナの利用(滞在)時間は、1時間以内が約51%、続いて1~3時間が約44%と比較的短時間の利用者が大多数をしめる傾向にある。

7. おわりに

福岡市のマリナMARINO Aにおける利用状況についての「アンケート調査結果」より、この種施設の基本計画データが得られた。今後、多変量解析による分析などを進めて行きたい。

最後に、今回の調査に御協力・御助言をいただいた(株)西福岡マリナ、九州共立大学の関係者に感謝いたします。